

会員 百選地通信

全国の会員が
自慢の百選地や観光地などを
紹介するコーナーです。
ぜひ一度は訪れてみたいところばかりです!!



1 岩手県宮古市
宮古の絶景と美味



2 秋田県小坂町
「七滝」と純小坂産ワイン醸造の
見学をどうぞ!



3 山形県鶴岡市
出羽三山と温泉で
「詣でる、つかる、いただきます」



4 千葉県旭市
美しき砂浜が遥かに続く
九十九里浜



5 千葉県匝瑺市
飯高寺(飯高榎林跡)



6 千葉県山武市
空に続くビーチ



7 千葉県横芝光町
九十九里浜を望む、
多様なフィールドで遊びつくそう



8 富山県立山町
称名滝



9 岐阜県養老町
観て!遊んで!食べて!
「養老町で!!」



10 三重県名張市
忍者修行の里
「赤目四十八滝」



11 三重県熊野市
22kmにわたって続く美しい海浜
「七里御浜」



12 奈良県天川村
小さな村のキャンドルナイト
inどろがわエコミュージアムセンター



13 岡山県真庭市
神庭の滝自然公園



14 愛媛県愛南町
美しい海と美味しい海産物がある町、愛南町



15 鹿児島県始良市
始良市の名所
「龍門滝」と「龍門司坂」



16 沖縄県久米島町
久米島の魅力をお届け

2 「七滝」と純小坂産ワイン醸造の見学をどうぞ!

秋田県小坂町

小坂町中心街と国立公園「十和田湖」を結ぶ樹海ライン沿いにある「七滝」は、名前の通り七つの段差を流れ落ちる滝です。落差は60m。滝を包み込む豊かな自然は新緑や紅葉など四季折々で様々な表情を見せ、それらが織りなす景観は圧巻の素晴らしさを誇ります。

2017年10月のオープン当初に一度、このコーナーで紹介させていただきましたが、七滝の向かいには日本ワインの醸造施設「小坂七滝ワイナリー」があります。オープンから3年余りが経過し、順調にオリジナリティあふれるワインが醸造されています。

地元の鶴(ときと)地区で栽培されている山ぶどう系品種を原料にした純小坂産のワインづくりにこだわっており、ワインは大きく分けて濃厚な色合いと、深みやさわやかさなど、豊かな酸味が特徴の「赤」、甘味のある「ロゼ」、フルーティーな味わいの「白」の3つ。通年の人気商品のほか、醸造法に工夫を凝らした限定品、クリスマスシーズンに合わせた新酒など、これまでに20種類ほどが販売されてきました。それぞれが和洋中の各種料理との相性もびつたりです。

ワイナリーは、事前予約により見学が可能。ワインは町内の芝居小屋「康楽館」の売店や小坂鉱山事務所の土産店「明治百年堂」、酒販店で販売されているほか、小坂まちづくり株式会社のオンラインショップでも購入できます。見学の予約やワインの購入は、小坂まちづくり株式会社(TEL0186-29-2821)までお問い合わせください。



桜の開花期の七滝。緑地広場では、お花見客の姿も見られ、滝を眺めながら思い思いに楽しむひとときを過ごしています。



「小坂七滝ワイナリー」で醸造されている日本ワイン。町内で栽培されている山ぶどう系品種の特性を生かしたワインがそろいます。

1 宮古の絶景と美味

岩手県宮古市

「浄土ヶ浜」は、宮古市を代表する景勝地であり、三陸復興国立公園のほぼ中心に位置し、国の名勝に指定されています。純白の岩肌に映える松の緑、海の群青が織りなす景観は、「さながら極楽浄土のごとし」と称される美しさです。三陸ジオパークの見どころのひとつであり、大地の歴史も感じることができます。また、透明度が高く波も穏やかな浜辺は、快水浴場百選に選定され、夏季には多くの海水浴客で賑わいます。

また、浄土ヶ浜湾内には「八戸穴」と呼ばれる穴があり、穴の入り口から差し込む太陽光に透明な海水が美しく青く輝くことから、別名「青の洞窟」と呼ばれています。洞窟とともに湾内にある名所、剣の山、養の河原、血の池などを巡る「青の洞窟さつば船遊覧」も行われています。

三陸ジオパークの一つである「鮎ヶ崎」は本州最東端の地として知られ、火山活動の産物とされる海岸段丘から眺める太平洋の大海原と白亜の灯台が来訪者を魅了します。灯台までのアクセスは、姉吉漁港からチャーター船で近くに上陸した後、5分程度歩いて行く方法の他、姉吉キャンプ場近くから約1時間のトレッキングコース(みちのち潮風トレイル)を歩いて行く方法があります。

宮古地方には、新鮮な生ウニを牛乳瓶に入れて販売する「瓶ウニ」というものがあります。その発想から2018年に新名物「瓶ドン」が誕生しました。瓶に詰まった新鮮な宮古の旬の恵みを、お客様がその場でホカホカのご飯にかけて完成させます。東日本大震災以降、水産物の安定的な供給を目指して海面養殖を行っている「宮古トラウトサーモン」を使用したものや地元産のイクラやウニを使用したものなど、季節や提供する店舗によって中に入る食材が変わるため、旬の食材や各店舗ならではの瓶ドンを味わうことができます。見て美しい、盛り付けて楽しい、食べて美味しい、インスタ映え間違いなしの体験型ご当地丼です。

自然の恵み豊かな宮古市へ、ぜひお越しください。



三陸復興国立公園「浄土ヶ浜」



「青の洞窟」



本州最東端の地「鮎ヶ崎」



宮古の新名物「瓶ドン」

4 美しき砂浜が遥かに続く九十九里浜

千葉県旭市

旭市は千葉県の北東部にあり、東京都心から約80kmの場所にあります。九十九里浜は、この旭市からいすみ市まで弓状に約60km続く海岸で、その美しさは、「日本の白砂青松100選」「日本の渚百選」に選定されています。

海岸には海水浴場があり、都心からのアクセスも良好なことから、夏期には海水浴客などで賑わいます。波質も良好で多くのサーフポイントも存在します。

また、九十九里浜の東端からは、高さ約35mから60mの断崖絶壁が連なる屏風ヶ浦が横たわり、その雄大な景観からイギリスドーバー海峡の断崖にちなんで「東洋のドーバー」と呼ばれています。その断崖の西端に位置するのが、刑部岬です。刑部岬からは、九十九里浜の湾曲した長い海岸線が一望でき、天気良ければ遥か彼方に富士山がその姿を現します。

岬の眼下には何隻もの船が停泊する飯岡漁港が広がり、その漁獲量は、千葉県第2位と海の幸が豊富に水揚げされています。中でも丸干しイワシは、江戸時代から受け継がれる地場産業であり、日本一の生産量を誇ります。旭市飯岡沖は、親潮と黒潮がぶつかる良好な漁場となっており、船釣りはもちろんのこと、漁港付近にある親水型防波堤でも気軽に釣りが楽しめます。

岬には、「恋する灯台」に認定された白亜の飯岡灯台もそびえ立ち、太平洋の大海原を静かに見守っています。

旭市は、漁業だけでなく農業産出額も全国6位と食の宝庫です。豊かな自然と食が溢れる旭市へ、ぜひお越しください。



上空からの屏風ヶ浦と九十九里浜



海水浴客で賑わう九十九里浜

3 出羽三山と温泉で「詣でる、つかる、いただきます」

山形県鶴岡市

森林浴の森日本100選「羽黒山参道と杉並木」がある羽黒山は、月山、湯殿山と合わせて出羽三山と総称されており、それぞれ現在・過去・未来を擬した三山を巡る「生まれかわりの旅」は、江戸時代に「出羽三山詣」として庶民に大流行し、「西の伊勢参り」に対して「東の奥参り」と称されました。参拝者は、「精進料理」を食べて入山し、下山後は温泉につかって俗世に戻り、地酒と旬の食材で今を楽しむ「精進落とし」の流儀を楽しみました。

鶴岡市では、この歴史・文化を活かし、「詣でる、つかる、いただきます」のキャッチフレーズで、寺社仏閣を詣でた後、市内温泉地で湯につかり、ユネスコ食文化創造都市に認定された鶴岡の酒と食を楽しむ新しい旅の提案を行っています。また、ご朱印帖のような手ぬぐいに主要観光地それぞれのオリジナルスタンプを押しながら周遊する「手ぬぐいスタンプ帳」も人気です。

また、鶴岡市では「出羽三山生まれかわりの旅」のほか、「サムライゆかりのシルク」、「北前船寄港地・船主集落」の3つが日本遺産に認定されており、これは日本最多の認定数となっております。

三山を詣で、湯につかり、美食・美酒に舌鼓を打つ鶴岡の「精進落とし」を体験するとともに、日本遺産を巡りながらオリジナルの手ぬぐいスタンプ帳を完成させてみませんか。



旅の記念に!
「手ぬぐいスタンプ帳」



「詣でる」出羽三山神社 三神合祭殿

6 空に続くビーチ

千葉県山武市

山武市は、千葉県の東部に位置し、日本有数の砂浜海岸である九十九里浜のほぼ中央にあり、約8キロメートルにわたって太平洋に面しています。

地勢は大きく分けて九十九里海岸地帯、その後背地としての広大な沖積平野及び標高40~50メートルの低い大地からなる丘陵地帯で構成されています。

海岸地帯では、遠浅の海が広がり、本須賀、殿下を始めとする5つの海水浴場に、多くのお客様が訪れます。また、夏以外の季節でも、サーフィンなどのマリンスポーツが楽しめます。

中でも、本須賀海水浴場は、ビーチの国際環境認証ブルーフラッグを2019年に取得しました。この認証は、水質検査や環境対策、バリアフリーなど多岐にわたる33にも及ぶ厳しい審査基準があり、国内3番目、千葉県内では初めての取得となりました。

丘陵地帯は、下総台地の一角を形成し、肥沃な農地と山武杉が連なり、良好な自然景観を形成しています。また、海岸と丘陵地帯の間には、見渡す限りの平坦な田園地帯が広がっています。稲作やネギなどの野菜のほか、約30軒の観光苺園が点在しています。

特に観光苺狩りは、関東最大級のエリアを誇っています。1月から5月初旬まで、チーバベリーやふさの香など千葉県オリジナルの品種をはじめ、多品種の食べ比べを楽しむことができます。

美しい海岸とおいしい苺が待っています。ぜひ、山武市にお越し下さい。



イチゴ



本須賀海水浴場

5 飯高寺(飯高檀林跡)

千葉県匝瑳市

天正8年(1580年)に開設され、明治7年(1874年)まで高僧を数多く輩出した飯高寺(飯高檀林)は、日蓮宗最古・最大・最高の学問所です。檀林とは梅檀林(せんだんりん)の略語で僧侶の集まりを梅檀の林にたとえた寺院の総称であるとともに仏教の学問所を意味します。最盛期には600から800人ほどの学僧が学び、境内に点在する施設などから往時の盛大さが偲べれます。

庵檀となった後も、当時の建物はよく保存されており、境内全体が千葉県の史跡に指定されるなど、うっそうと茂った杉林の中に姿をとどめています。

総門をくぐり巨大な杉並木を進むと、巨大で美しい講堂が現れ、また、講堂の近くには趣のある鼓楼と鐘楼が並んでいて、これら4つの建造物は国の重要文化財にも指定されています。

飯高寺周辺にも、いくつかの名所があり、散策コースも用意してありますので、四季折々の風景を楽しむこともできます。

現在は、年に2回のコンサートの会場として利用されているほか、檀林跡の魅力をより深く理解できる無料観光ガイドツアーも実施中です。



飯高檀林



飯高檀林跡

8 称名滝

富山県立山町

立山連峰を源流とし、称名峡谷から4段に折れながら一気に流れ落ちる称名滝は、日本一の落差(350m)を誇る大瀑布です。日本の滝100選のほか、国の名勝や天然記念物にも指定されています。

称名滝の名前の由来は、流れ落ちる滝音が「南無阿弥陀仏」と称名念仏を唱えているように聞こえることから名づけられたともいわれており、将来に残していきたい音の聞こえる環境として、「日本の音風景100選」にも選ばれています。

春の雪解けの時期や大雨の後など、水量の多い時だけにしか見ることができない落差500mの幻の滝「ハンノキ滝(別名:阿吽(あうん)の滝、ネハンの滝)」とのコラボレーションは、まさに大自然が作り出す芸術です。夏には滝しぶきによる清涼感と豊富なマイナスイオンを全身に受けることができ、秋には極上の紅葉をお楽しみいただけます。

称名滝までは、桂台駐車場から徒歩約30分。称名滝周辺の標高は約1,040mです。



春の称名滝(左:称名滝 右:ハンノキ滝)



秋の称名滝

7 九十九里浜を望む、多様なフィールドで遊びつくそう

千葉県横芝光町

横芝光町は千葉県の北東部、九十九里浜のほぼ中央にあり、豊かに広がる田園風景や白浜が続く海岸の自然が心を癒してくれます。

町の“南側”に位置する九十九里浜の屋形海岸と木戸浜には、美しい白砂が続き、5月頃には一面にハマヒルガオが咲き誇ります。7月にはコアジサシが飛来するほか、海水浴場の開設や新春には初日の出など、四季折々の出会いを楽しむことができます。

また、町の“中央”を縦断する栗山川は豊富な魚種が釣れる名所として多くの釣り人で賑わう人気スポットとなっています。広い流域と穏やかな流れを活かし、カヤック体験やSUPなども楽しむことができます。

町の“北側”には室町時代に築かれた中世の山城の跡地である「坂田城跡」があります。坂田城跡はいくつかの「くるわ」で構成され、400年以上壊されることなく当時の姿を残す県内でも貴重な城跡です。ハイキングを楽しみながら城跡を抜けると、県内最大級の梅林「坂田城跡梅林」が眼前に広がります。

梅の花が咲き、梅の香りが梅林を包む2月下旬から3月中旬頃には、坂田城跡梅まつりが開催され、観梅に訪れる方をおもてなしします。凛とした純白の花が一斉に開花した景観は圧巻です。

町の北側、中央、南側とそれぞれのフィールドを舞台に多様なアクティビティをお楽しみいただけます。また、もつ料理などの美味しい特産品もたくさんありますので、ぜひお試しください。



“中央” 栗山川カヤック体験



“北側” 坂田城跡梅林



“南側” 九十九里浜(屋形海岸)

◆ 10 忍者修行の里「赤目四十八滝」

あかめしじゅうはちたき

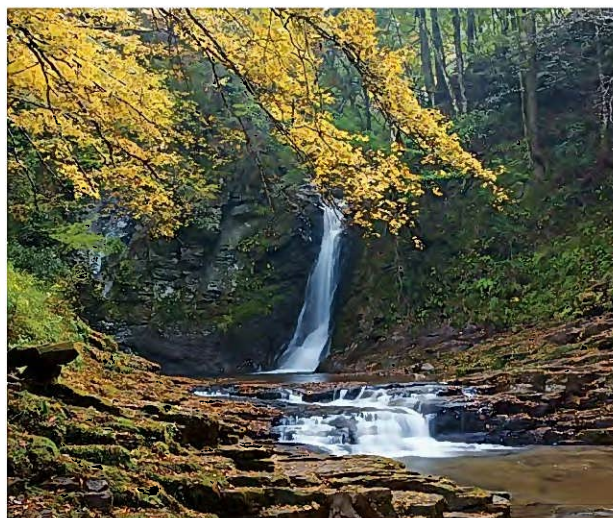
三重県名張市

赤目四十八滝は、原生林の山肌を縫うように約4kmにわたって続く溪谷に、遊歩道が整備され赤目溪谷の神秘的な雰囲気の中で滝や岩石、草木が創り出す大自然のアートが楽しめます。春から夏は新緑、秋は紅葉、冬は氷瀑の姿が溪谷の季節に美しさを添えます。

この赤目四十八滝から山をひとつこえた「竜口」という里には、伊賀流忍者の開祖、百地三太夫の生家があります。戦国時代に活躍し、織田信長とも死闘を繰り広げた百地三太夫は、赤目四十八滝を修行の場とし、多くの忍者を輩出しました。幾重にも滝が重なる起伏に富んだ地形は、まさに格好の修行の場でありました。

また、10月下旬から1月には、「なばり竹あかりSDGsプロジェクト」の一環である赤目四十八滝溪谷ライトアップ『幽玄の竹灯』が開催されます。このライトアップでは、放置竹林から伐採した竹を再利用し、市民参加型のワークショップや、地元竹あかり作家の作品など1,000本に及ぶ竹灯りが滝を彩ります。昨今のイルミネーション中心のライトアップとは一線を画した幻想的で温かみのある竹あかりは、苔むした溪谷と、流れ落ちる滝をバックに癒しの明かりを届けます。

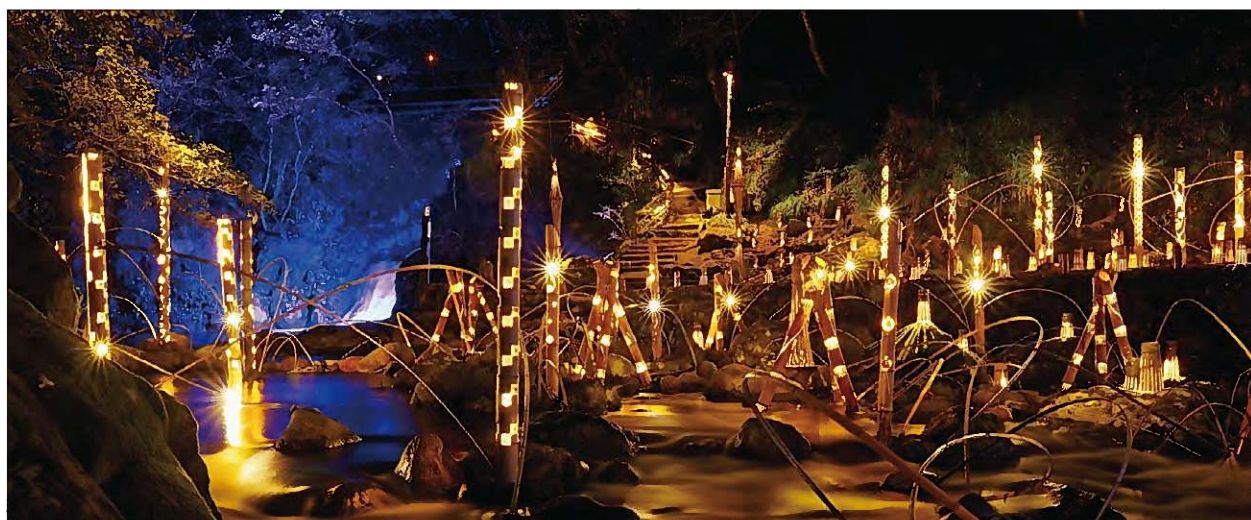
雄大な自然を体感しながら、多彩な滝めぐりを満喫しませんか。



紅葉の琵琶滝



新緑の千手滝



赤目四十八滝溪谷ライトアップ「幽玄の竹灯」

◆ 9 観て! 遊んで! 食べて! 『養老町で!!』

岐阜県養老町

養老町は、四季折々の景色を見せる養老山脈や田園風景など自然の魅力に溢れています。また、“滝の水がお酒になった”という伝説で有名な「養老の滝」は町のシンボルで、この滝を中心に広がる養老公園は、約78.6haに及ぶ広大な公園です。例年3月下旬から4月上旬には約3000本の桜が咲き誇り、公園一帯をピンク色に染めます。美しい景観を楽しめ、写真映えもすることから、多くの人々が訪れます。

敷地面積約10万㎡、自然の地形と環境を十分に生かした児童の遊び場である岐阜県こどもの国、昭和48年オープン of 遊園地のレトロなアトラクションがある養老ランド等、児童にのびのびと遊べる観光スポットがあります。

また、園内にある養老天命反転地は身体で直接体験できるアート作品があり、写真映えするスポットとして、若者を中心に人気があります。

そして、グルメスポットとして有名な県道56号線沿いの「養老焼肉街道」は焼肉の名店があり、厳選された飛騨牛・国産牛を求め、岐阜県外からも多くの人々が訪れます。

ぜひ一度岐阜県養老町へお越しください!



高さ約30mから流れる迫力満点の養老の滝



約3,000本の桜が咲き誇る養老公園

◆ 12 小さな村のキャンドルナイトinどろがわエコミュージアムセンター 奈良県天川村

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、天川村もしかり各地で多くのイベントが中止となりました。イベントが少なく沈んだ～人の心に灯りを灯したい～という想いにより、天川村では「小さな村のキャンドルナイトinどろがわエコミュージアムセンター」を開催することになりました。

12月5日には、キャンドルナイト・キャンドルコンテスト・癒やしの灯りコンサート・あったかものフェアでゆっくりとした時間を過ごしていただき、12月6日から2月28日までは、会場に回廊を設置します。期間が終わりに向かうにつれて賑わっていく回廊をお楽しみください。また、イベント最終日には、天川村の雪景色の中に咲く艶やかな花火をお楽しみください。



◆ 11 22kmにわたって続く美しい海浜「七里御浜」 三重県熊野市

七里御浜は、三重県熊野市から同県紀宝町まで約22km続く日本で1番長い砂礫海岸で、「世界遺産」、「日本の渚百選」、「21世紀に残したい日本の自然百選」、「日本の白砂青松百選」、「日本の名松百選」に選ばれている日本でも有数の景勝地です。

その昔、熊野詣をする人々や西国三十三所を目指す巡礼者が歩いたことから「浜街道」や「巡礼道」とも呼ばれ、信仰の道としての役割を果たしていました。

荒々しい黒潮をおおらかに受けとめるこの浜には、熊野灘の荒波に磨かれた小石が敷き詰められているのが特徴で、春から夏にかけてアカウミガメが産卵のために上陸する地としても知られています。

七里御浜では毎年さまざまなイベントが開催されており、5月のゴールデンウィークには約200匹の鯉のぼりが泳ぐ「泳げ!鯉のぼりくん」、8月17日には三百年の伝統を誇る「熊野大花火大会」、2月2日と10月2日には世界遺産「花の窟神社」の「お綱かけ神事」などが開催されています。四季折々に違った顔を見せる七里御浜を体感してみたいかでしょうか。



七里御浜を雄大に泳ぐ鯉のぼり



熊野古道松本峠付近から望む七里御浜

14 美しい海と美味しい海産物がある町、愛南町 愛媛県愛南町

四国愛媛県に位置する愛南町は、黒潮踊る太平洋、里山の豊かな自然に囲まれた人口約2万人の小さな町です。「日本の渚100選」に選出された愛南町須ノ川海岸は、足摺宇和海国立公園内にある玉の浜石が特徴の海岸です。沖を望むと真珠の養殖イカダがまるでじゅうたんのように広がっており、海中を覗けば美しいサンゴの様子が見られます。そんな美しい海のある愛南町は、マリナクティビティや美味しい海産物を楽しむことができます。夏にはSUPやダイビング、シュノーケリングをはじめ、顔を濡らすことなく海の中を散歩することができるシーウォーカーを体験することができます。

そして愛南町では、牡蠣、ブリ、鯛などたくさんの海の幸を味わうことができますが、その中でも一押しは「カツオ」です。四国一の水揚げ量を誇る愛南のカツオの中でも、鮮度、味共にNo.1なのが「愛南びやびやかつお」です。通常のカツオ漁は、早朝に出向し、次の日もしくは2日後の朝に市にかけられるのに対し、愛南町深浦港では獲ったその日に港に戻り、午後には市場にかけることができるため、他のどこにもない「新鮮なカツオ」を手に入れることができます。獲ったその日のうちに水揚げされるカツオは「日帰りカツオ」と呼ばれ、「今までのカツオは本当のカツオの味ではなかったのか…」と錯覚するほどの美味しさです。さらに、それを船上で活け締めし鮮度保持を行ったものが「愛南びやびやかつお」と呼ばれ、新鮮すぎて包丁が入りにくいほどの弾力がある身は食べた人を驚かせます。

美しい海に恵まれ、魅力あふれる愛南町にぜひおいでください!



シーウォーカー



シュノーケリング



カツオのお刺身



真牡蠣

13 神庭の滝自然公園 岡山県真庭市

神庭の滝は、高さ110m、幅20mの中国地方随一のスケールを誇る名瀑です。断崖絶壁を流れ落ちる滝の豪快さはまるで白布をまとったように見え、水しぶきは霊験さを感じさせてくれます。この滝の特徴は落差の小さな滝が何個も点在する段瀑であり、まさに自然が創り出した芸術といえます。滝の中央には黒い岩が突起し、落下する水しぶきに逆らってのぼる鯉に似ていることから「鯉岩」と呼ばれています。

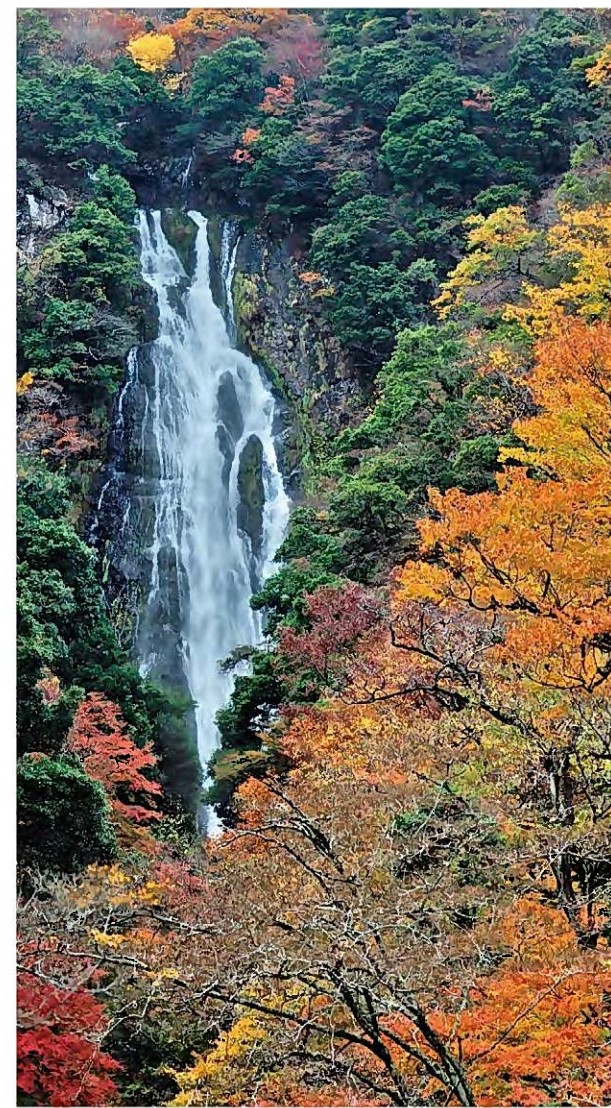
下流には草葺き屋根から雨のしずくが落ちる姿に似ている「玉垂れの滝」や石灰岩が浸食されてできた「鬼の穴」と呼ばれる洞窟もあります。

これらを含む周辺は国指定の名勝、県立自然公園に指定されており、広大な溪谷内には種々の樹木が繁り、四季を通じて美しい景観を楽しむことができます。特にカエデやカツラなどの紅葉が織りなす秋の風景はおすすめです。

また、公園内には昭和32年に餌付けされた野生の猿が約160匹生息しています。タイミングが良ければ愛らしいその姿を見ることができるともかもしれません。

さらに、神庭の滝自然公園から車で5分程度行くと、家々の軒先に色とりどりの草木染めの「のれん」が掛かっている「勝山・町並み保存地区」があり、訪れる人を優しく迎えてくれます。

ぜひ、真庭市へお越しいただき雄大な滝と歴史をあふれる町並みを楽しんでみてください。



神庭の滝



公園内の猿の様子



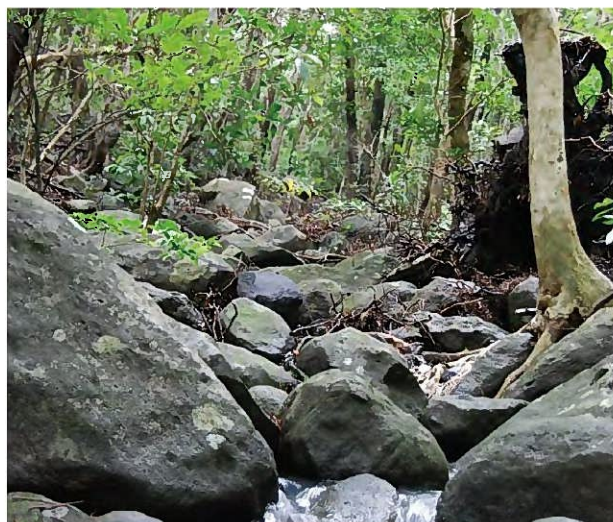
勝山町並み保存地区

16 久米島の魅力をお届け

沖縄県久米島町

日本の渚百選に選ばれた「イーフビーチ」は、沖縄本島から西に約100kmに位置する離島の久米島にあります。イーフビーチは、きめ細かな真っ白い砂浜で約2kmにも及ぶ天然ビーチです。干潮になれば沖まで歩いて行けるほどの遠浅であり、イノー散策も気軽にできます。波が穏やかで海水浴場として最適な環境、小さなお子様も安心して泳ぐことができます。イーフビーチの他にも、360度エメラルドグリーンの海に囲まれた「ハテの浜」や、久米島近海には数多くのダイビングスポットや釣りスポットもあり、シュノーケルやダイビング、沖釣りなど、さまざまな海遊びが可能です。

海だけでなく、琉球王朝時代につくられた城址や希少野生生物の重要な生息地となっている溪流や湿地があり、豊かな自然を感じることができます。また、天然の草木や泥染めで染色、手織りされたしなやかな風合いと気品が特徴の国指定重要無形文化財「久米島紬」や、生産量日本一の「車えび」と「海ぶどう」など、自然・歴史・食と様々なコンテンツで魅了します。ぜひ久米島へお越しください。



湿地



クルマエビ



イーフビーチ

15 始良市の名所「龍門滝」と「龍門司坂」

鹿児島県始良市

鹿児島県のほぼ中央に位置する始良市には、平成2年に「日本の滝百選」に選ばれた「龍門滝」があります。龍門滝は、網掛川の上流に位置し、高さ46m、幅43mの雄大な滝です。その昔、唐人がこの滝を賞して「漢土の龍門瀑を見るが如し」と言ったことからこの名がついたと言われています。滝見台からは、滝つぼに落ちる豪快なしぶきを楽しみながら、マイナスイオンを体いっぱい浴びることができます。

滝の近くには、「歴史の道百選」に選ばれた、薩摩街道大口筋の一部「龍門司坂」があります。苔むした石畳の風情が美しいこの坂道は、西南戦争で西郷隆盛率いる薩軍が熊本へ向かう際に登ったことで知られており、NHK大河ドラマ「飛ぶが如く」「篤姫」「龍馬伝」「西郷どん」のロケ地として起用されました。龍門滝から龍門司坂まで続く石畳の遊歩道は、四季折々の景色を楽しむことができるおすすめのお散歩スポットです。

始良市には、ほかにも、日本一の巨樹である蒲生の大クスや国立公園にも指定されている白砂青松の広大な干潟を持つ美しい重富海岸など豊かな自然が楽しめる場所がたくさんあります。ぜひ、始良市へお越しください。



雄大な龍門滝



歴史の道 龍門司坂



日本一の巨樹 蒲生の大クス



広大な干潟を持つ重富海岸